

豊中市のアンケート調査の活用に関する調査研究（要約）

-市民ニーズ等の把握手法の検討-

（執筆：とよなか都市創造研究所主任研究員 石村 知子）

1. 調査研究の背景・目的

市民のニーズや意見を的確に把握し、効果的に政策に反映させることが求められる中、市民のニーズ等を捉える方法として自治体では多くのアンケート調査が行われている。

根拠に基づく政策立案（EBPM）の推進が求められる中、質の高いデータの収集とその効果的な活用は一層重要となっている。そこで、豊中市で実施されているアンケート調査の実態・課題を整理し、市民のニーズ等をより効果的に把握し、政策立案に活かしていくための方法について検討する。

2. 本調査研究の課題

- ・豊中市で実施されたアンケート調査の実態・課題の整理
- ・アンケート調査以外の市民ニーズ等の把握手法の検討
- ・より適切なアンケート調査の活用方策の検討

3. 報告書の構成

1. はじめに

- ・研究の趣旨
- ・自治体の行うアンケート調査の現状・課題

2. 豊中市におけるアンケート調査の実態調査

- ・市の主なアンケート調査の沿革
- ・庁内アンケート実態調査の分析、考察

3. アンケート調査以外の市民ニーズ等の把握手法の検討

- ・テキスト・マイニングの手法を用いた「市民の声」の分析

4. おわりに

- ・提言・今後の課題・展望

補論 WEB モニターアンケートの活用

付録 豊中市アンケート調査のてびき(抜粋)

4. 豊中市のアンケート調査の活用に関する提言

①調査リタラシーの向上に向けた職員の人材育成の方向性

- ・アンケート調査の基礎知識及び多様な関係者とのコミュニケーション能力の向上
- ・気軽に相談できる窓口の重要性

②調査の質の向上に向けた調査実施体制

- ・ 市内でのノウハウの蓄積が豊富な部署、不十分な部署との連携による市全体での質の向上及び調査の知見の蓄積の重要性
- ・ 過去のアンケート調査結果や自治体シンクタンク等の本市の資源の活用

③庁内外の連携の方向性

- ・ アンケート調査に関わる各主体の得意分野・調査プロセスや課題に沿った連携
- ・ 各主体をつなぐ結節点及び相談窓口としてのとよなか都市創造研究所の意義

③情報共有・活用の方向性

- ・ アンケート調査のエッセンス、ノウハウの共有
- ・ 自由意見の活用・共有
- ・ 調査設計の段階でのアンケート調査の必要性の精査

5. 研究結果の活用

- ・ 市内情報共有システムに調査結果速報・標本集計ツールを掲載（令和3年9月）
- ・ 研究所主催事業「疑問解決！職員のためのデータ分析相談会」の実施（令和3年10月）。4部局の相談を受け、結果は市内情報共有システムで公開。
- ・ アンケートのノウハウをまとめた共通実施マニュアルの要望をうけ、職員に向けた、アンケート調査の基礎知識をまとめた「アンケート調査のてびき」（下記）を発行

6. 課題と今後の展望

- ・ 新しい市民意識の把握手法の活用・開発
- ・ データの公開・共有を通じたアンケート調査の回答者との関係づくり
- ・ 市民と協働したアンケート調査データの活用方策の検討

(参考) 豊中市アンケート調査のてびき (もくじ)

1. アンケート調査のプロセス	3-2	標本数の決定
何からはじめればいいのか？	3-3	サンプリング抽出
1-1 調査企画		
1-2 サンプリング		
1-3 調査票の設計		
1-4 調査実施		
1-5 データのチェック		
1-6 集計・分析		
1-7 調査結果の公表（報告書の作成）		
2. 主な調査方法と特色		
2-1 主な調査法		
2-2 WEBを活用した調査		
3. サンプリング		
3-1 母集団の設定		
4. 調査票設計		
4-1 調査票設計の手順		
4-2 調査票全体の構成		
4-3 回収率を高めるためには		
5. 集計・分析		
5-1 集計		
5-2 分析・結果の解釈		
6. 結果の公開（報告書の作成）		
7. 調査委託		
7-1 委託する前に		
7-2 調査委託の事務フロー		
7-3 調査委託の実施のポイント		